

令和7年度 予防接種の受け方

子どもの予防接種



予防接種の種類	対象年齢(月齢)		接種回数	接種間隔等 (○内の数字は標準的な接種回数)	
	推奨期間				
B型肝炎 ※1	1歳に至るまで	生後2～8か月	3回	①②③	①-②の間は27日以上、①-③の間は139日以上あける
Hib ※2	生後2か月～4歳 対象年齢は、生後2か月～4歳ですが、接種開始年齢によって接種方法が異なります。 ※2	初回接種が生後2～6か月の場合	標準 4回	①②③	初回 27日以上(標準的には27日～56日)の間隔をおいて生後12月までに①②③ ④ 追加 ③の後、7か月以上あけて④(標準的には7～13月)
		初回接種が生後7～11か月の場合	3回	①②③	初回 27日以上(標準的には27日～56日)の間隔をおいて生後12月までに①② ③ 追加 ②の後、7か月以上あけて③(標準的には7～13月)
		初回接種が1～4歳の場合	1回	①	
小児肺炎球菌 ※2	生後2か月～4歳 対象年齢は、生後2か月～4歳ですが、接種開始年齢によって接種方法が異なります。 ※2	初回接種が生後2～6か月の場合	標準 4回	①②③	初回 標準的には27日以上の間隔をおいて生後12月までに①②③(②は生後12月、③は生後24月まで) ④ 追加 ③の後60日以上の間隔をおいて生後12月以降(標準的には生後12～15月)に④
		初回接種が生後7～11か月の場合	3回	①②③	初回 標準的には27日以上の間隔をおいて生後12月までに①②(②は生後24月まで、超えた場合は接種しない) ③ 追加 ②の後、60日以上の間隔をおいて、生後12月以降に③
		初回接種が1歳～生後23か月の場合	2回	①②	①-②を60日以上あける
		初回接種が2～4歳の場合	1回	①	
四種混合 (DPT-IPV:ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	生後2か月～7歳半まで	生後2か月～1歳	4回	①②③	1期 初回 20～56日あけて①②③ ④ 1期 追加 ③の後、6か月以上あけて④
		③終了後12～18月		④	
五種混合 (DPT-IPV-Hib:ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・Hib)	生後2か月～7歳半まで	生後2か月～生後7か月	4回	①②③	1期 初回 20～56日あけて①②③ ④ 1期 追加 ③の後、6か月以上あけて④
		③終了後6～18月		④	
二種混合 (DT:ジフテリア・破傷風)	11～12歳	小学6年生	1回	①	2期
BCG(結核)	1歳に至るまで	生後5～8か月	1回	①	
麻しん・風しん (MR)	生後12～24月に至るまで H31.4.2～R2.4.1生まれの人		2回	①	1期 1歳以降①
				②	2期 小学校就学前の1年間で②
水痘	1～2歳	生後12～15月	2回	①	初回 1歳以降①
		①終了後6～12月		②	追加 ①の後、3か月以上あけて②
日本脳炎 ※3	生後6か月～7歳半まで 9歳～12歳	3歳	4回	①②③	①-②の間は6日以上(標準的には6～28日)あける
		4歳		①②③	①-②の間は6日以上(標準的には6～28日)あける
		小学4年生		④	2期
HPV (ヒトパピローマウイルス) ※4	サーバリックス(2価)を選択した場合 小学6年生～高校1年生相当(女子)	中学1年生	3回	①②③	①の後、1か月以上あけて② ①の後、6か月以上あけて③
		中学1年生	3回	①②③	①の後、2か月以上あけて② ①の後、6か月以上あけて③
		中学1年生	3回	①②③	①の後、2か月以上あけて② ①の後、6か月以上あけて③
		中学1年生	3回	①②③	①の後、2か月以上あけて② ①の後、6か月以上あけて③
ロタウイルス ※5	生後6週から24週 生後6週から32週	ロタリックス(1価)を選択した場合	2回	①②	①-②の間は4週間以上あける(出生後14週6日以内に初回接種推奨)
		ロタテック(5価)を選択した場合	3回	①②③	①-②-③の間は4週間以上あける(出生後14週6日以内に初回接種推奨)
おたふくかぜ	【推奨】1歳以降		2回	①②	長門市では、おたふくかぜワクチンの接種費用の一部助成しています。 1期:1歳 2期:小学校就学前の1年間

異なるワクチンの接種間隔※6

経口ワクチン
口から飲むワクチンです

定期接種

任意接種

法律に定められている予防接種で、定められた期間に接種した場合は無料です。

ワクチンの接種は認められていますが法律に定められていないワクチンの接種のことで、接種費用は自己負担です。

予防接種等が受けられる医療機関

予防接種は、長門市内においては下表に○または◎印がある箇所です。◎印は予約制ですので、必ず事前に電話等で予約してください。受付時間は変更となる場合がありますので、各医療機関に事前にご確認ください。

地区	医療機関名	電話番号	予防接種日・受付時間	予防接種名													任意
				定期接種													
				B 型 肝 炎	ヒ ブ	肺 炎 球 菌	四 種 混 合	五 種 混 合	二 種 混 合	B C G	麻しん 風しん (MR)		水 痘	日 本 脳 炎	H P V	ロ タ ウ ィ ル ス	
1 期	2 期																
長門	天野内科胃腸科医院	22-2210	(月・火・水・金) 8:00～12:30、15:00～17:30 (木・土)8:00～12:30	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	岡田クリニック	22-2717	(月・火・水・金) 8:30～12:00、13:30～17:00 (木・土)8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	◎
	岡田病院	23-0033	(月～金) 8:30～16:30 (土)8:30～11:40						◎			◎	◎	◎		◎	
	斎木病院	26-1211	(月～金) 10:00～17:00 (土)10:00～12:00	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	しみず循環器科内科医院	22-2205	(月・火・木・金) 8:00～17:00 (水・土)8:00～11:30						◎			◎		◎	◎		◎
	長門診療所	22-2440	(月・火・木・金) 8:30～17:00 (水・土)8:30～12:00						◎				◎★	◎			
	長門総合病院	22-2220	小児科 (水・金)13:30～14:30 かかりつけの人は主治医にご相談ください 時間等はお問い合わせください	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎
	宮尾医院	26-0559	(月～金)8:00～11:30、14:00～17:00 (土)8:00～11:30						◎			◎	◎	◎	◎		◎
	持山外科整形外科医院	22-1555	(火～金)8:30～13:00、14:00～17:00						◎	◎			◎	◎★			◎
	吉村内科	22-3322	(月・火・水・金)8:30～12:00、14:30～17:30 (木・土)8:30～12:00						◎			◎		◎			
三隅	桑原医院	43-0010	(月・火・水・金)14:00～17:30 (木・土)8:30～12:00						◎			◎		◎		◎	
油谷	戸嶋医院	34-0003	(月・火・水・金)8:30～12:00、13:00～18:00 (土)8:30～12:00						◎		◎	◎		◎			
	友近内科循環器科医院	32-1180	(月・火・水・金)8:00～11:30、14:00～16:00 (木・土)8:00～11:00						◎					◎★			

★長門診療所、半田内科クリニック、持山外科整形外科医院、友近内科循環器科医院の日本脳炎は学童のみ、桑原医院のおたふくかぜは年長児のみ

※ 1 B型肝炎予防接種について

HBs抗原陽性の妊婦から生まれた乳児として、健康保険よりB型肝炎ワクチンの投与(抗HBs人免疫グロブリンを併用)の全部又は一部を受けた人は対象外となります。

※ 2 Hib、小児用肺炎球菌の初回接種について

初回接種について、決められた年齢までに規定の回数の予防接種が終わらなかった場合は、追加接種(1回)のみとなります。この場合の追加接種は、Hibは最終接種から27日、小児用肺炎球菌は最終接種から60日あけて接種します。

※ 3 日本脳炎予防接種について

平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの人で、積極的な接種勧奨の差し控え(平成17年度～平成21年度)により接種を受けていない人は、20歳の誕生日の前日までは無料で接種を受けることができます。

※ 4 ヒトパピローマウイルス(HPV)について

サーバリックス(2価)を接種する際、当該方法が難しい場合は、1回目の接種から5か月以上、かつ2回目の接種から2か月半以上の間隔をおいて接種を受けることができます。ガーダシル(4価)、シルガード9(9価)を接種する際、当該方法が難しい場合は、1か月以上の間隔をおいて、2回行った後、2回目の接種から3か月以上の間隔をおいて接種を受けることができます。

平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれの女性で、令和4年4月から令和7年3月末までに1回以上接種した人は、無料で接種を受けることができます。

※ 5 ロタウイルスワクチンの初回接種時期について

月齢が進むと、腸重積症という病気にかかりやすくなり、また、ロタウイルスワクチンの接種を受けることによって、特に初回接種から約1～2週間は、腸重積症のリスクが増すという研究報告があるため、腸重積症の起こりにくい時期に接種を受けていただくために、初回接種を出生14週6日後までに受けることをお勧めしています。

※ 6 異なるワクチンの接種間隔について

- ①注射生ワクチンから次の注射生ワクチンの接種を受けるまでは27日以上の間隔が必要です。
- ②同じ種類のワクチンの接種を複数回受ける場合はワクチンごとに定められた間隔を守りましょう。

